

静岡相撲部OBちから会
昭和30年から会創立
昭和39年11月初刊
会長 細倉涼太
事務局 大江弘文

第2回 全国女子相撲選抜ひめじ大会 (下村勝彦)

平成28年6月12日(日)
姫路市網干南公園相撲場

全国より選抜された、小学生から大学、一般まで95名が出場。本県関係は10名が出場し、前回は上回る好成績を挙げた。

○ 小学生4年以下の部 (40kg未満)
決勝戦 岸本(宮崎)○(吊だし)×平口幸芽(焼津東小)

第2位 平口幸芽(3年)

3位決定戦 山下寧々(焼津小川小)○×内野(長崎)

第3位 山下寧々(4年)

○ 小学生4年以下の部 (40kg以上)
決勝戦 渡邊美海(三島東小)○×平井萌南(佐賀)

優勝 渡邊美海(3年)

○ 小学生5年の部 (50kg未満)
決勝戦 吉田ももか(佐賀)○×武井陽奈(熱海第二小)

第2位 武井陽奈

○ 中学・高校の部・超軽量級 (50kg未満)
3位決定戦 福里愛美 ○×柴田歩乃佳(愛知)

第3位 福里愛美(1年・焼津大村中)

○ 中学・高校の部・重量級 (75kg以上)
決勝戦 水沼ひかる(愛媛)○×渡邊愛海(三島南中)

第2位 渡邊愛海

3位決定戦 渡邊七海 ○×大上詩乃(鳥取)

第3位 渡邊七海(飛龍高校)

○ 一般超軽量級 (50kg未満)
決勝戦 松浦みな実 ○×椎名智恵子(大阪)

優勝 松浦みな実(焼津港中教諭)

○ 一般軽量級 (65kg未満)
決勝戦 山中未久 ○×野崎舞夏星(立命館大)

優勝 山中未久(静岡・立命館大職員)

○ 一般中量級 (65kg、80kg未満)
決勝戦 松浦麻乃 ○×奥村知咲(朝日大)

優勝 松浦麻乃(具体協)

○ 一般無差別級

準決勝 稲葉映美(立命館大)○×山中未久

〃 ビック・ドルジ(九州情報大)○×野崎舞夏星

第3位 山中未久

第3位 野崎舞夏星

☆ 今大会を振り返って!

小学生4年以下(40kg以上)で優勝の渡邊美海(三島東小・3年)、中・高校の部重量級(75kg以上)で、2位の渡邊愛海(三島南中)、3位の渡邊七海(飛龍高校)の3姉妹がそろって入賞した。
又、一般でも超軽量級・松浦みな実(焼津港中教諭)

静岡 溪声俳句会

早起きも昼寝も日課無聊の日 岩崎 安次
雲の影運びて早し青田波 高橋 璋
地下足袋の吊るさる庭のさるすべり 加賀美 幸
飽きもせず眺めつづける蟻の列 原川 芳朗
青嵐古寺を見守る大銀杏 佐藤 康紀
山門の芽ふき終えし青嵐 永田 峰雄
いくたりに逢うて別れし日傘かな 牧田 秀峰

が優勝。中量級の松浦麻乃(具体協)も優勝し、2組の姉妹選手が活躍した。

小学生では、級最軽量で3年ながら平口幸芽(焼津東小)が、得意の下手投げで決勝へ、山下寧々(焼津小川小)も3位入賞し、2年連続の入賞となる。50kg未満の武井陽奈(熱海第二小)も初出場ながら決勝戦へ進出、惜敗するも2位に入賞。

前回、小学6年生50kgで優勝した福里愛美(焼津大村中・1年)は中・高の部、超軽量級に出場、高校生を相手に奮闘し、3位に入賞する。

一般の部軽量級では、前年優勝の野崎舞夏星(立命館大)と、第2位の山中未久(立命館大職員)が再び決勝で対戦し、今回は山中が先輩の意地をみせ、下手投げで破り雪辱をする。

無差別級には、松浦みな実、松浦麻乃、山中未久、野崎舞夏星の4選手が出場。山中、野崎共に準決勝で敗れ3位にとどまり、今大会2度目の決勝対決は成らなかった。松浦姉妹、山中、野崎に続く小・中・高の選手が着実に育っていることは、各地域の指導者、コーチの成果であり、こうした結果が底辺拡大へとつながってくる事を期待する。

☆ 第25回わんぱく相撲静岡県大会が6月19日

富士宮北高校相撲場で開催。県下JC9支部から勝ち抜いてきた(4年・5年・6年)計27名で全国大会目指して熱戦を繰り広げた。この大会各学年の4位までの入賞者が全国大会(国技館)への出場が決まる試合なので、各選手気合を入れた試合であった。4年生酒井健心6位・5年生星野陽太9位・6年生山本漣5位の成績となり、残念な結果となりました。が!、JC本部から4年生の4位、5位の選手が全国大会辞退するとの事と連絡が有り、6位の酒井健志選手が全国大会へ出場する事が決定しました。これも何か運の強い選手かなと。ガンバレ!

☆ ちから会へのご寄付誠に有難う御座います。

静岡市葵区宮前町 櫻井博道 様 (第57回卒)
静岡市葵区本通 内山謙一 様 (第57回卒)
(6月18日 同窓会会場にて)



第2回全国女子相撲選抜ひめじ大会 出場の
静岡県女子選手団

☆ 静岡県相撲連盟 下村勝彦会長 受章

静岡県体育功労章の授与式が6月24日ホテル・センチュリーで開催。相撲関係では、県連会長の職務に長いあいだ底辺拡大に尽力し、又、静岡県の女子相撲の発展を望み、自らを犠牲にし、静岡県の相撲道を発展させてくれたのは、会長の最も好きな相撲に尽きるのではないでしようか。

会長の相撲に対する姿勢は、我々相撲関係者の誇りであり、又、尊敬の念に尽きます。過去、下村会長と相撲を取った経験のある者ほどその気持ち強いのでは！。常磐公園相撲場で、下村会長の鉄板の胸にぶつかっていった思い出、今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。今回の受章、誠におめでとう御座います。

静岡相撲部OBちから会一同。

第71回国民体育大会・第6回東海相撲選手権

大会静岡県選考会が6月26日(日)富士宮北高校相撲場で、高校生、青年、成年の選手35名が出場した。この大会すべてリーグ戦で行われた。

静岡からは、(少年) 高校生の部に小林(静岡)、成年の部に森の2選手が出場。高校生・個人予選3回戦に出場の小林選手、辛うじて決勝リーグ戦(8名)に進出、結果3勝4敗で第6位。続いて成年の部(7名)に出場の森選手1勝5敗で、2選

手敗退で終了。

(役員) 岩崎・川上・大江・中村・武・森

☆ 第51回静岡県相撲選手権大会

(団体戦) 静岡市 準優勝

第19回静岡県女子相撲選手権大会

(個人戦) 小学生5年の部 渡部梨々花 準優勝

7月10日(日)、午前10時焼津市営相撲場に於いて開催した。選手権大会は、高校生男子、一般男子で行われ高校生25名、一般12名が参加。一般の部支部対抗団体戦(3人編成)、静岡(先鋒)森、(中堅)中村武の2名の布陣で臨み、県下各地から強豪が出場した結果準優勝に輝いた。(大江監督のクジが良かった。)午後からの試合では小学生5年の部に出場の渡部梨々花選手も見事、準優勝を挙げ、この大会我々静岡支部は大満足の成績を挙げての終了となった。その後、山中、野崎の両選手を入れて写真一枚パチリ、小学生女子3名大喜びでの解散となった。
(大会監督 大江)

(岩崎・川上・大江・中村・細倉・武・森・中村健)

☆ 静岡同窓会関西支部・関東支部総会開催

7月2日(土)、新大阪駅前ワシントン・ホテル、7月9日(土)、東京神田の学士会館で両支部の総会が開かれた。いずれも新会場となる。

大阪には平野顧問、赤石新会長、梅原副校長等、本部より6名が出席する。最年長の天尾守先輩(44回卒)はじめ、大阪県人会会長、静岡関西支部長の来賓など29名が参加、富阪幹事長司会のもと今年も和やかな会となる。今年立命館大を卒業し、職員として残った山中未久は本人本家に不幸があり、出席できず参加した皆さんは残念がっていた。今年の全日本女子大会には、一人でも多く応援に行くので、頑張ってほしいとの伝言を頂いた。閉会は五十六会、大津さんの音頭で校歌を歌い、来年の再会を楽しみに解散となる。

関東支部総会も、東京オリンピックの関係で、今までの品川プリンスホテルが改修される為、今回は御茶ノ水学士会館となる。この会館は1886年創立で静岡創立より13年古く、歴史を感じる趣のある建物であった。但し会場は狭く、各期人数を調整し163名の参加となる。総会終了後懇親会となり、48年卒のプロトランペット奏者小澤保雄氏の演奏や、歌手川守宏君の飛び入りもあり、関西を上回る熱気に包まれた。

この会が始まる前、野球部OBの阿井先輩から、平野前会長へ9年間貢献された感謝を込めて花束が贈られる。今年も静岡から駆け付けた応援団OBにより、応援歌はじめスクラム行進など、パフォーマンスが行われ、校歌斉唱で、最高の盛り上がりとなって閉会する。

今年、38、48、58期の当番で、平野顧問のご配慮で慰労会へ向かう。6期出席の中に桑原先輩の姿が見えなかつたので、電話をするのと体調の件もあり、欠席したが、来年は楽しみにしているとの事でした。

下村勝彦。